

## 提携活動

### ■ 武田薬品工業株式会社と開発提携

2018年8月に、当社と武田薬品工業株式会社は、当社の抗PD-1抗体「オブジーボ」と、武田薬品工業株式会社が米国エクセリクス社から日本における開発提携および独占的販売権を取得しているマルチキナーゼ阻害剤「カボザンチニブ※1」について、日本における腎細胞がんに対する両剤の併用療法に関する開発を協力して実施することを発表しました。

本提携に基づき、当社と武田薬品工業株式会社は、未治療の進行性または転移性の腎細胞がんを対象とした両剤併用療法の有効性および安全性を検討する第Ⅲ相臨床試験を日本において開始しました。

※1 カボザンチニブ・・・米国で「進行性腎細胞がん」、EU、ノルウェー、アイスランド、オーストリア、スイス、韓国では「血管内皮増殖因子標的療法での前治療歴のある進行性腎細胞がん」の治療薬として販売されています。

### ■ クロビス社との開発提携契約締結

2018年8月に、米国クロビス社と同社のPARP阻害剤「ルカパリブ※2」と当社の抗PD-1抗体「オブジーボ」について、日本、韓国、台湾において卵巣がん、乳がんおよび前立腺がんを含む複数のがん腫に対する両剤の併用療法に関する開発提携契約を締結しました。

クロビス社は、米国、欧州およびその他の国際的な市場において、革新的な抗がん薬の取得、開発および商業化に注力するバイオ医薬品会社です。

本契約により、現在、海外で当社のパートナー企業であるブリストル・マイヤーズ スクイブ社とクロビ

ス社が計画および実施している「オブジーボ」と「ルカパリブ」の併用療法における有効性および安全性を検討する臨床試験に、当社が日本、韓国および台湾において参画していきます。

※2 ルカパリブ・・・米国において「プラチナ療法による化学療法で完全奏効もしくは部分奏効中の再発上皮性卵巣がん、卵管がん、腹膜がん」の維持療法などで承認されています。



クロビス社

## 提携活動

### ■ フェイト社との創薬提携契約締結

2018年9月に、米国フェイト・セラピューティクス社(以下「フェイト社」)とがんを対象としたiPS細胞由来他家CAR-T細胞治療薬の創製を目的とする創薬提携契約を締結しました。

フェイト社は、がんおよび免疫疾患においてファーストインクラスの細胞療法の開発に特化したバイオベンチャー企業で、iPS細胞を用いた他家細胞療法治療薬創製の先駆的企業です。

本契約により、フェイト社独自のiPS細胞製品プラットフォーム<sup>※3</sup>を駆使し、当社が選択した2つの創薬標的に対するiPS細胞由来他家CAR-T細胞治療薬を創製します。1つ目のCAR-T細胞治療薬は血液がんを対象とし、2つ目のCAR-T細胞治療薬は固形がんを対象としています。

※3 フェイト社独自のiPS細胞製品プラットフォーム…既存の抗がん剤との併用を含め、より効果的な薬理活性を達成するために、繰り返し投与することができる均一かつ改変された他家細胞製品の大量生産を可能にするものです。



フェイト・セラピューティクス社

## 長期収載品の一部を承継

### ■ 長期収載品(注射剤5ブランド11品目)を丸石製薬株式会社へ承継

2018年10月に、当社が保有する長期収載品の中で、注射剤である「カタクロット<sup>®</sup>(4品目)」、「エフオーワイ<sup>®</sup>(2品目)」、「エラスポール<sup>®</sup>(1品目)」、「プロスタルモン<sup>®</sup>(2品目)」、「プロスタンディン<sup>®</sup>(2品目)」の計5ブランド11品目について、日本における製造販売承認を丸石製薬株式会社へ承継することを発表しました。

両社は、承継を滞りなく完了するために協働しながら業務移管を進め、2018年12月1日より丸石製薬株式会社が当該製品の製造販売ならびに医療機関に対する情報提供活動を開始する予定です。また、当社は、当該製品ならびにそれらの原薬に関する海外企業とのライセンス契約・供給契約についても、丸石製薬株式会社に譲渡します。